

普及啓発の取組みにも活用しています。また、区役所に配備されている青色防犯パトロール車両も電気自動車を採用し、日々の防犯活動においても低炭素化を図っています。

⑩ 倍速・急速充電スタンドの設置

電気自動車の普及促進をめざし、倍速充電器を市役所本庁舎など本市関連施設 10 か所の駐車場に設置し、一般開放を行っています。また、平成 23 年度に民間の施設 1 か所に急速充電スタンドを設置し、同施設をおおさか充電インフラネットワークに登録して電気自動車の普及啓発をしています。



福祉局 Top Commitment

大阪市では、大阪市環境基本条例等に基づき、職場での省エネルギーを促進することにより、エネルギー使用に伴う温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化対策に貢献するため、市民・事業者と連携してさまざまな環境施策を積極的に進めています。福祉局では、業務の特性上、職場や所管施設における事務及び事業の実施に伴う照明・OA 機器の使用や空調設備の運転などにより、電気や都市ガスなどの多くのエネルギーを使用しているところではありますが、施設の冷温水発生器や空調機のスケジュール運転時間を緻密に行うことに加え、給湯循環ポンプの運転台数削減や床暖房設備の使用抑制を図り、温室効果ガスの排出量を削減します。また、効率的な施設の運用や「庁内環境管理計画」に基づく取組みを推進することにより、環境負荷の低減に努めます。

⑪ ライトダウンキャンペーンの実施

省エネを進めるため、外壁等をライトアップしている建物・施設に対し、ライトダウン（消灯）を呼び掛けています。平成 24 年度は、環境省のライトダウンキャンペーン「ライトダウンジャパン 2012」と連携して、6月21日（夏至の日）・7月7日（七夕・クールアースデー）を対象にライトダウンを呼び掛け、本市および関連施設では 144 施設で省エネルギー・省 CO₂の取組みが行われました。

病院局 Top Commitment

病院局では市民の健康・福祉の増進に資するために、「総合医療センター」を市民病院の中核施設とし、十三・住吉市民病院については、総合医療センターとの連携のもと、それぞれの病院が専門的特色をもった病院として、医療の提供に努めています。この3病院において、病院内の環境を維持するとともに、各種医療機器を使用して高度で、安全確実な医療を提供するためには、大量の電気、ガス、水などのエネルギー資源は必要不可欠です。そのため、エネルギーを効率的に利用できるコージェネレーション発電機や、冷房の熱源装置には電気方式に加えてガス吸収式を設置するなど、従来からエネルギーの有効利用に努めています。さらに、事業者として「大阪市地球温暖化対策実行計画」に従い、温室効果ガスを削減するため、環境EMSへの取組みを通じて、適正な冷暖房温度の設定や、診療に影響のない照明の減灯を行うなど省エネルギーに努めています。また、今後予定される老朽化している設備の更新にあたっては、高効率機器を積極的に採用することで、さらに省エネルギー化を進めてまいります。

今後とも、安全な医療の提供と、地球環境保全のため環境負荷の低減に取り組んでまいります。